

阿久比町教委との話し合い

阿久比町教委
 教育長 石井勝巳
 指導主事 藤井一貴

知多地方教職員労働組合
 委員長 佐田京美
 副委員長 岩澤弘之
 書記長 岡崎良久

1 多忙化解消の計画について

- ア) 在校時間管理の適正化
- 組 (知教労) 出退校記録が正確にされることが大事。休憩時間の記録も正確か疑われる。英比と草木は、土日勤務と80時間超が1人もいないが、4月なのに事実なのか。東部は、79時間超が9人と多い。
- 町 (町教委) 出退校記録は年に6回出してもらっている。実態を正しく把握できるよう正確な記録を取るよう指導する。まずは英比・草木の確認をする。超過勤務者削減目標を達成する具体的な計画はまだ立てていない。
- 組 衛生推進者が出退勤簿集約を行えば教頭に業務は集中しないし、教職員の意識も高まる。
- 組 阿中ではほとんど割振りがされていない。
- 町 1月の事故から、子どもたちとの関わりを増やすように負担を減らしている。
- 組 時間外の業務はすべて記録するべき。
- イ) 業務改善の推進
- 組 メンタルで苦しんでいる職員が産業医に面談できるという仕組みの周知をお願いしたい。業務改善の進捗はどうか。
- 町 負担軽減のために閉庁日を設定した。部活はなく、使い方は各自が選ぶ。留守番電話機は9月中に全小中学校に設置する。校長などの意見を聞いて運用を考えていく。
- 組 文科省は閉庁日に自宅研修を認めるなど柔軟な利用を薦めている。留守電は、始業終業時刻での切り替えにしてほしい。
- 町 閉庁日に自宅研修はよい考え。
- ウ) 部活動の負担軽減
- 組 町で部活ガイドラインを作ることになった。
- 町 阿中と相談して作る。小学校は土日行わない。
- 組 部活の抑制はどのように進めるのか。
- 町 中学校は、平日は月曜日休み、土日はどちらか1日休みで半日活动。小学校は陸上はあるが、期間が短い。1年通すのは金管くらい。
- 組 陸上大会は町の開催でやりたい子だけ参加にすればよい。
- 組 阿中は45人のうち30人が80時間越え。朝部廃止をガイドラインで出してもらいたい。
- 町 秋口から超過勤務は短くなる。

- 組 朝練を止めると超過勤務が月20時間近く減る。多忙化解消のため廃止の自治体は広がっている。
- 町 保護者から土日の休みで不満の声が出ている。
- 組 不満の人の声は届きやすい。教師も生徒も本人の部活希望の意思を確認してほしい。
- エ) 勤務の縮小・負担の軽減
- 組 英語の専門教員を入れてほしいという声は上がってこないか。
- 町 そのような声は聞こえてこない。一生懸命やってくれている。県からの指導員の補充は阿久比にはない。
- 組 英語教室の先生に補助してもらってはどうか。
- 町 予算がかかるものは難しい。
- 組 作品募集は各団体が行うよう、町教委でコントロールしてほしい。
- 町 難しい。
- 組 学校訪問の指導案を減らすとか、無しにするとかで負担を軽減できる。また、就学時健診のように本務外の業務負担が多いので減らすべき。
- 町 知能検査を園ごとにやればできるかもしれないが、子どもたちを一カ所に集めるのが難しい。本務外の業務が多い面は確かにある。

2 道徳・学力検査について

- 組 道徳では、内心までは評価できない。最大限配慮して実施していただきたい。
- 全国学テは、事前に準備させていないか。
- 町 道徳の評価は年に1回で、内心は評価しない。学テの事前準備はさせていない。

3 予算要望など、その他について

- 組 校長や校務などの声を拾っているが、一般教員の要望を聞くため、現場に要望一覧を見せて意見を反映したものを採用してもらいたい。
- 町 無言。
- 組 数学のリープなどは各学校にデータを送れば、買わなくてもすむし、生徒の登下校の重量負担も減る。副教材を作るのも本務ではない。
- 町 考える。
- 組 災害時に学校が避難先になって、教師が過労で倒れた事例がある。対応を考えておいていただきたい。
- 以上